

2. 快適でやすらぎのあるまちづくり

鉄道高架

Railroad bridges

■現況及び課題

鉄道で分断される南北交通の円滑化等の課題を解決するため、昭和55年から国や県に要請し、昭和61年4月に国の連続立体交差事業として採択を受け、昭和63年4月22日付けで都市計画法による「都市施設」として計画決定されました。平成2年7月10日には、都市計画事業認可告示がなされ、JR東海道本線と名鉄蒲郡線の高架化事業に着手し、平成12年11月には名鉄高架が完成しました。

また、JR本線についても、高架化区間全線の工事が本格化しています。

鉄道を立体化することにより、南北一体となった市街地整備、道路整備、河川整備が推進できるほか、踏切の除去による交通渋滞の解消、南北流通機能の改善、沿線地域住民の交流の活性化等を図ることができることから、本市にとって不可欠な事業として、強力な推進が求められています。



名鉄高架

鉄道高架

[施策の体系]

1. 国・県・鉄道事業者との連携
2. 高架化工事の促進
3. 関連整備事業の推進

基本方針

国道・県道・都市計画道路等と市街地の一体的整備を図るための連続立体交差事業として、国・県・鉄道事業者と連携を深め、事業促進を要請します。

施策

1 国・県・鉄道事業者との連携

事業計画に基づく事業の積極的推進を図るため、関係住民の理解と協力を求めるとともに、国・県等への助成の要請と鉄道事業者との連携、調整に努めます。

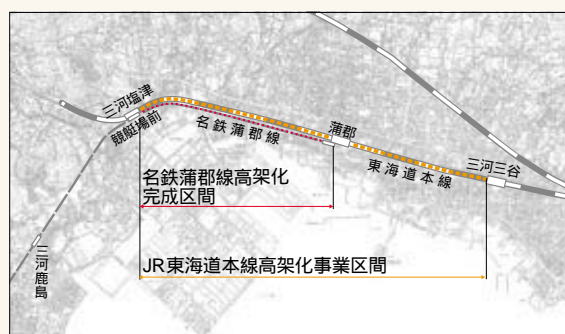
2 高架化工事の促進

事業計画に基づき高架本体工事の促進を図り、早期完成に努めます。

3 関連整備事業の推進

国道・県道・都市計画道路等の幹線道路、交差道路、高架側道及び河川等、市民生活に密接した関連施設の整備を進めることで、都市機能をより向上させ、生活環境の改善を図ります。

●掲載資料 鉄道路線図(鉄道高架区間)



主な事業・計画

事業名		概要	計画期間		事業主体
連続立体交差事業	鉄道高架化事業	JR東海道本線(延長 約4km、駅部)	前期	後期	愛知県
高架側道整備事業		鉄道南側 延長 約2km 鉄道北側 延長 約4km			蒲都市
高架下利用施設整備事業		駐車場・小公園・商業施設などによる土地活用			蒲都市